

高等学校 令和4年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教科：国語 科目：現代の国語 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～6組

教科担当者：（1組：濱上、香内）（2組：広崎、香内）（3組：香内、濱上）（4組：広崎、濱上）（5組：濱上、広崎）（6組：香内、広崎）

使用教科書：新現代の国語（三省堂）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他社との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	入門、声と言葉で表そう 【知識及び技能】 [(1)7] 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 [B(1)4] 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度を考えて、文章の構成や展開を工夫すること。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 全文を通読し、状況や関係を考える。 写真を見て、状況や関係を考える。 写真にせりふをつける。 写真を見せながら、考えたせりふを発表し合う。 ・教材 「世界を言葉と声で表す」 その他関連資料	○			【知識・技能】 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 [(1)7] 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度を考えて、文章の構成や展開を工夫している。 [B(1)4] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・言葉の働きを理解したり、読み手の理解が得られるように工夫したりすることに向けた、粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○	1
	単元1、わかり合うために 【知識及び技能】 [(1)7] 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解すること。 [(1)7] 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解すること。 [(1)7] 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 [(1)7] 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 全文を通読する。 内容によって本文を段落に分ける。 事例と主要の関係に着目し、本文の内容を把握する。 筆者の考えを捉える。 本文全体の内容を要約する。 ・教材 「届く言葉、届かない言葉」 鷗外清一 「聞く力」 阿川佐和子 その他関連資料	○			【知識・技能】 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 [(1)7] ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 [(1)7] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 [C(1)7] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・言葉の働きを理解したり、常用漢字を用いたり、文章の内容や構成を捉え、文章の要旨や要点を把握したりすることに向けた、粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査						○	○	○	1
	単元2、確かな情報を伝えるために 【知識及び技能】 [(1)4] 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うこと。 [(1)4] 文、語、文章の効果的な組立てや接続の仕方について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 [(1)4] 自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫すること。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 全文を通読し、内容を読み取る。 本文の内容を手がかりに、「情報と適切につきあう方法」を考え、ペアワークやグループワークで交流する。 話しテーマとそれに対する自分の考えを決め、必要な情報の検討と収集の準備をする。 資料を決め、スピーチ原稿案をペアワークで交流し構成や構成を検討する。 原稿を完成させ、パブリックスピーチをする。 ・教材 「ひとまず、信じない」 押井守 「パブリックスピーチ」 その他関連資料	○			【知識・技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 [(1)4] ・文、語、文章の効果的な組立てや接続の仕方について理解している。 [(1)4] 【思考・判断・表現】 ・「話す聞く」ことにおいて、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。 [A(1)4] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 [(1)4]	○	○	○	6
単元3、情報を生かすために 【知識及び技能】 [(1)4] 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うこと。 [(1)4] 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び構文の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにすること。 【思考力、判断力、表現力等】 [B(1)7] 目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすること。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 全文を通読し、キーワードについて理解する。 本文の内容を手がかりに、情報が行動に結びつかない理由について考える。 筆者の問いかけに対し、考えを提案する。 伝える相手や目的に沿って、情報を整理し、作り変える。 報告書にまとめる。 ・教材 「人が死なない防災」 片岡敏孝 報告書 その他関連資料 ・一人1台端末の活用 等 文書作成ツールを用い、報告書を作成すること。	○			【知識・技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 [(1)4] ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [(1)4] 【思考・判断・表現】 ・「話す聞く」ことにおいて、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 [B(1)7] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 [(1)4]	○	○	○	8	
定期考査						○	○	○	1	
2 学 年	単元4、よりよい読み手になるために 【知識及び技能】 [(1)7] 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っていること。 [(1)7] 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び構文の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにすること。 【思考力、判断力、表現力等】 [(1)7] 目的に応じて、文や文章などに含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 全文を通読し、事例を比較して述べる方法の長所と短所について考える。 筆者がどのような情報を示しながら主張を展開しているか、分析・評価する。 全文を通読し、内容に沿って段落に分ける。 各段落から、「問題」「結論」「理由」の要素を読み取り、筆者の主張をつかむ。 本文中の事例と筆者の主張の関係をまとめる。 ・教材 「読むことのレッスン」 飯間浩明 「コインは四角か」 佐藤信夫 その他関連資料	○			【知識・技能】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 [(1)7] ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [(1)7] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 [C(1)4] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・常用漢字を文や文章の中で使ったり、語句の量を増し語感を磨き語彙を豊かにしたり、目的に応じて文章や図表などに含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりすること。	○	○	○	6
	単元5、場に応じて伝えるために 【知識及び技能】 [(1)4] 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うこと。 [(1)4] 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び構文の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにすること。 [(1)7] 主と論拠など情報と情報との関係について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 [(1)4] 話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 [(1)4]	・指導事項 場によるクイズを解いて、答えと根拠をメモし、ペアワークで交流する。 「情報がない、という情報」に相当する事例を考える。 二つの文章を読み比べ、書きぶりの違いに気づく。ペアワークで交流し、各自の気づきを共有する。 「アセンション」のテーマを考え、発表資料を作る。 資料に合わせて、発表原稿を書き、アセンションを行う。 本文の要旨や要点を捉える。 ・教材 身当てクイズ 「能ガメの無念」	○			【知識・技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 [(1)4] ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [(1)4] ・主と論拠など情報と情報との関係について理解している。 [(2)7] 【思考・判断・表現】 ・「話す聞く」ことにおいて、話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 [A(1)7] ・「話す聞く」ことにおいて、論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構	○	○	○	7
	定期考査						○	○	○	1

